

「ハラール」の意味

ハラールとは

- ハラールとは、イスラーム法によって「許されたもの」を意味する。一方、「禁止されるものまたは行為」はハラームと言われる。
- 神が創造したものは基本的にハラールであり、例外的に禁止されているものがあると考えられている。例えば、野菜、果物、魚類、水は原則としてハラールであると考えられているが、有毒なものなどは除く。
- しかし、豚関連などハラームの要素が含まれていないかは常に注意を払っておく必要がある。

ムスリムが口にすることを許されていない主な食材

豚

- ✓ 豚のあらゆる部位
 - そこから派生して豚のエキスや豚の成分が含まれる添加物等も避ける



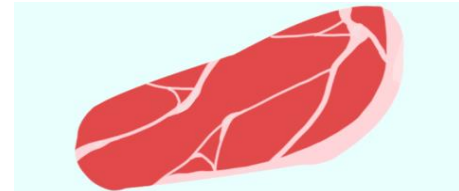
アルコール

- ✓ アルコール飲料
 - ごく微量の添加物としてのアルコールについてはイスラーム法の学派によって判断が異なる



豚以外の動物由来食材

- ✓ イスラームのと畜方法に依らずにと畜されたあらゆる動物の肉
 - イスラームでは、と畜の手法についても決まりがある(アッラーの名を唱えてからと畜する等)
- ✓ 動物の血液
- ✓ 屍肉



※学派によっては魚介類のなかにも一部避けるべきとする食材がある

参考

宗教上の戒律・生活習慣

表2 主な宗教の戒律等

区分	信者数の人口比率	戒律・習慣
ムスリム (イスラム教徒)	インドネシア (87%) マレーシア (61%) パキスタン (96%) トルコ (99%) バングラデシュ (88%)	<p>○禁止又は嫌悪されている食材の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚及びアルコール(料理酒、みりん等も含む。)、宗教上の適切な処理が施されていない肉 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日5回の礼拝を行う。 ・食事では、食材、血液、厨房、調理器具が教義に則っているかということに対して非常に敏感 ・イスラム暦9月に1か月の断食期間があり、期間中は夜明けから夜まで一切の飲食が禁止 ・女性は、家族以外の男性に対して髪を隠すことが礼儀正しい。 ・偶像崇拝が禁じられている。 ・イスラム教国では、金曜日が集団礼拝の日として休日になることが多い(安息日ではない)。
ヒンドゥー教徒	ネパール (81%) インド (80%)	<p>○禁止又は嫌悪されている事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材:肉全般、牛、豚、魚介類全般、卵、生ものなど ・左手を使うことは避ける。
ユダヤ教徒	イスラエル (75%)	<p>○禁止又は嫌悪されている事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材:豚、血液、イカ、タコ、エビ、カニ、ウナギ、貝類、ウサギ、馬、宗教上の適切な処理が施されていない肉、乳製品と肉料理の組合せなど ・安息日(7日を1週とする時の周期の最後の日:土曜日)には、一切の労働が禁じられている。

(注) 1 信者数の人口比率は、外務省 (<http://www.mofa.go.jp/mofai/area/index.html>) 及びJETRO (https://www.jetro.go.jp/world/asia/pk/basic_01.html) の数字を使用
 2 戒律・習慣は、「多様な食文化・食習慣を有する外国人客への対応マニュアル」(平成20年2月国土交通省総合政策局観光事業課作成)を参考として、当局が作成
 3 同じ宗教であっても、国や地域によって戒律の水準に差があり、また、個人によって解釈が異なる。

表3 イスラム教の戒律等に関する詳細事項

区分	戒律・生活習慣
食事	豚及びアルコールの摂取禁止 ・豚肉には、豚由来成分を含む食品も含まれる。 ・アルコールが微量に含まれる調味料を避ける者もいる。
礼拝	礼拝回数 ・一日5回礼拝を行うが、旅行中は3回に減らす者もいる。 実施方法 ・礼拝前に手・口・鼻・顔・腕・髪・足を水で清め(ウドゥ)、キブラ(メッカ/マッカの方向)に向かって礼拝する。 ・男女別々に行う。
その他	露出の回避 ・家族以外に素肌を見せることを嫌がる者が多い。 ・ムスリムの女性は、ヒジャブという布で頭を覆い髪を隠す。 断食月 ・イスラム暦第9月に約30日間、夜明けから日の入りまで断食・齋戒をする。ラマダーン、ラマダンともいう。
全般	ハラール ・イスラム法で「許されたもの」を意味する。 ・逆に、禁じられた行為・ものは「ハラム」という。例えば、食における代表的なハラムは、豚肉やアルコール飲料。 ハラール認証 ・各認証機関が、商品・サービスがイスラム法に基づく要件を満たしていることを保証するもの。 ※各機関の認証に統一基準が存在しないこと等から、ハラール認証に対する考え方は一様ではない。

(注) 「ムスリムおもてなしガイドブック」(平成27年8月観光庁作成)、「ムスリム旅行者受入の心得」(平成26年3月昇龍道プロジェクト推進協議会[事務局:中部運輸局]発行)及び「日本のモスク」(店田廣文著、2015年)を参考として、当局が作成









